



四日市市立西朝明中学校

にしあさけ

令和5年度 第21号
令和6年2月9日(金)

論理的思考力推進校・公開授業

2月6日(火)午後から1年3組の国語科(吉田愛子教諭)の「少年の日の思い出」を題材とした提案授業を中心に、鳴門教育大学の泰山裕准教授をお招きし、教育委員会や中学校区小学校・共に研究を進める内部東小学校の先生方と共に研修を深めました。泰山准教授は「これからの社会を切り開く子どもたちに必要な能力を育むための教育のありかについて、教育工学の視点から研究」されており、西朝明中学校の教員に「正解のない問いを考え抜く、それを自分でコントロールできるような『自律的探究者』の育成のために、どのような授業、評価、環境が求められるのか」についてご示唆頂いています。



また、これから求められる「探究的な学び」の実践のために「教科等の知識や技能に加えて、情報をうまく扱うための『情報活用能力』が求められます。そのような情報活用能力をどのように育むのか、その中の要素である思考スキル(考えるための技法)の指導」に着目し、本校の授業の在り方について1年間ご助言を頂きました。本校が過去3年間取り組んできましたICT活用実践推進校としての取り組みにも通じるところがあります。

今回の授業は本教材の11時間目となり、最後の1文の効果に着目し、主人公の心情を読み取ることを目標とし、その中で一つひとつの言葉がもつ効果について、生徒個々が自分なりに探究しつつも、クラスの仲間との意見交流を通じて、自分の考えを高めると共に他者の考えを知ることによって新しい発見もしながら読みを広げていく学習となっています。

第1次の3時間では「作品の全体像を捉える」を目当てとし、作品の前半を中心に読み進めました。



第2次としての6時間では「登場人物の特徴を比較する」を目当てとして、主人公「僕」の気持ちを中心に各シーンを読み解いていきました。

そして第3次は2時間かけて、物語最後のシーンに着目し、これまでの読み取りのまとめとして「主人公の心情を考える」を目当てとして読み取っていきます。

そして第3次は2時間かけて、物語最後のシーンに着目し、これまでの読み取りのまとめとして「主人公の心情を考える」を目当てとして読み取っていきます。



その二時間目に当たる公開授業では次のような手順で主体的・協働的に学びを深めていきました。



①「ちょうを一つ一つ取り出し、指で粉々に押しつぶしてしまった」僕の気持ちを考える上で「一つ一つ」「指で」「粉々に」「押し」「しまった」といったワードに着目し、そのワードがどのような働きをしているのかを自分なりにまとめる。



②同じワード(例:「一つ一つ」)を選択して考

えた人と交流する中で、自分の意見をより良いものにブラッシュアップしていく。



③違うワードを選択した人と交流する中で、自分以外の考えに触れ、様々な捉え方があることを知る。

④今回の活動と学びの振り返りを行う。

✎ 学校公開日にお越しいただきありがとうございました ✎

2月8日(木)に3学期の学校公開日を実施しました。寒風吹きすさぶ中、30名を超える保護者の皆様に来校いただき、本校の教育活動をご覧いただきご意見を賜れたことは、今後の本校の教育活動の充実に向けて大きな助けとなるものです。来年度も各学期に一度は開催したいと計画しておりますのでご協力ください。



西朝明中学校には広い駐車スペースがございません。保護者の皆様には学校単位での行事の際には徒歩または2輪車での来校にご協力いただきありがとうございます。今後も①天候が良くグラウンドに車を入れられる。②卒業式など他学年のグラウンドを使う授業がない。などの特別な場合を除き、来年度も来校手段についてはご協力いただけますようよろしくお願いいたします。



📄 コミュニティスクール運営協議会 📄

令和5年度最後の西朝明中学校コミュニティスクール運営協議会を開催しました。今回の協議会では12月におこなった学校評価の結果を委員の皆様にご覧いただきました。また、委員各自が1年間、西朝明中学校と関わっていただく中で感じたこと等を踏まえた令和5年度の総括と、令和6年度に向けての改善の指針となるご意見を頂きました。今回頂戴した運営協議会としての評価を受け止め、今後も学校運営の改善を図っていきたいと考えます。なお、運営協議会委員の皆様には3月7日(木)に実施いたします第45回卒業証書授与式にもご出席いただけます。